

シンポジウム

# 身近な地域の

# 生物多様性を考えよう！

～在来自然の保全と外来生物の影響について～

日時：2010年3月7日（日）

13：00～17：20

場所：周南市徳山保健センター  
多目的ホール

参加費：無料

わたしたちの周りには、自然がたくさん残っています。緑があり、鳥や昆虫も飛んでいます。みなさんは、その中身が少しずつ変化してきていることに気がついているのでしょうか。

植林、魚の放流やガーデニングなど、わたしたちがいままでなにげなく、自然に良かれと思ってやっていたことが、本来の自然を壊していることもあります。いつもと同じと思っている身近な風景の中で、知らない間に何かが起こっています。

自然の生態系に配慮しなかった様々な開発行為により、人間の都合できれいにされた環境は、多くの生物たちの住処を奪っています。変わってしまった自然を元に戻せるのでしょうか。

最近話題になっている、人間により拡がっている外来生物の問題も、思っているほど他人事ではありません。

わたしたちの身近な地域の「生物多様性」を守るためにはこれからどうしたらよいか、一緒に考えてみましょう。

## < プログラム >

- 13:20～13:50 岡谷 優子  
「身近な地域の生物多様性と外来植物の影響と」
- 14:00～14:40 後藤 益滋  
「水辺の生物保全と外来種対策について」
- 14:50～15:30 角田 正明  
「身近な緑地における生物多様性実現のための実践活動【昆虫編】」
- 15:40～16:20 嶺田 卓也  
「農村の草花たちの危機！”春の七草”が置き換わる日」
- 16:40～17:20 パネルディスカッション  
「身近な地域の生物多様性を考える」

生き物がたくさんいる環境を守るために何か行動したい。  
ただ、どうやったらいいのかわからないこともあります。  
ホタルが生息できる要素を入れたホタル水路、幼虫が育つことのできる公園・森林づくり、農村の草花を残す方法、外来生物を増やさない行動など、具体的なやり方も紹介します。

NPO 法人 水環境地域ネットワーク  
(通称名 WFEN ウーフェン)

周南市遠石 2 丁目 6-22-302

電話/FAX 0834-21-5822



WFEN E-Mail

info@wfen.jp



このシンポジウムは平成 20 年度（独）環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受けて実施しています

< 講師紹介 >

後藤 益滋

学校法人香川学園 宇部環境技術センター 技術部主任  
山口大学工学部理工学研究科 博士後期課程修了 工学博士  
専攻は応用生態工学

嶺田 卓也

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 農村環境  
部環境評価研究室 主任研究員  
岡山大学自然科学研究科博士後期課程修了 学術博士(Ph.D)  
専攻は雑草生態学, 農耕生態学

角田 正明

山口県農林水産部主査 愛媛大学農学部卒  
アマチュア昆虫研究家 やまぐち昆虫楽会会長 やまぐちむしの会  
会員など 活動内容 昆虫飼育、昆虫教室講師、文筆活動など

岡谷 優子

NPO法人水環境地域ネットワーク理事 山口大学人文学部卒  
周南市西緑地公園万葉の森愛護会長 周南市環境基本計画推進委員  
第2級ビオトープ計画管理士

水生生物の視点から、河川の生態系  
保全のあり方、ホタルの生息環境変化  
の原因とホタル水路の実践結果など  
を紹介します。

シジミ・ヨコエビなど外来種はすで  
にたくさん侵入済みです。ホタルが外  
来種をエサにして光らなくなる生態  
への影響、コイやアユの放流など外来  
移入種が本来の生態系に及ぼす影響  
なども問題です。問題の内容を知っ  
て、一緒に考えましょう。

農村環境内にも意図・非意図を問わ  
ず、たくさんの外来植物が入ってきて  
いる現状と、「春の七草」を題材に、  
在来種が追いやられ、身近な自然が外  
来種ばかりになってしまう可能性と、  
「草花調査」によって、まずその現実  
に気付くことの重要性をお話できれ  
ばと考えています。

自然はすべての人の身の回りにあり、遠くの自然を考えると  
同時に、すぐ身近な地域の自然の変化に気づいてほしい。植物  
を調査してきて、身近な緑の多くが外来植物と入れ替わってい  
ることやほかの生物に影響していることを知った。外来生物の  
問題はあまり意識されていないが、誰にでも関係することで、  
わたしたちがよいと思ってやっていることが自然にどう影響す  
るのか、これからどうすればよいのかみんなと一緒に考えたい。

昆虫の分布域はもともとの移動分散  
だけではなく、人為的な植木の植栽な  
どでも広がっている状況です。

多くの昆虫は植物と密接に関係して  
います。昆虫の生態を踏まえながら、  
多種多様な昆虫が生息できる緑地の造  
成や管理方法について、紹介します。

自然の保全を考えると、地球に生きているすべての生物が命をつないできた環境のことを忘  
れないようにしたい。人間は自然の一員である。わたしたちのすぐ身近に生きているほかの生物  
たちの棲める環境も考えて行動しよう。

今まで人間の都合で開発を進めてきた結果、ほかの生物の生息場所を脅かしてきた。

さまざまな生物がいる自然を将来に残すために、「生物多様性」を守ることが重要視されてい  
る。わたしたちにできることは何か考えよう。



<会場>

周南市徳山保健センター  
山口県周南市児玉町1丁目1  
0834-22-8550

<アクセス>

- JRご利用の場合 徳山駅より徒歩10分
  - バスご利用の場合 徳山駅より市役所前下車1分
  - 山陽自動車道ご利用の場合  
 広島方面から 徳山東1.Cより10分  
 福岡方面から 徳山西1.Cより20分
- ※駐車場が少ないので、なるべく公共機関をご利用下さい。